

日本のインクルーシブ・リーダーシップと企業の社会的責任、ソーシャル・アントレプレナーシップの男女差

研究代表者：立命館アジア太平洋大学 准教授 篠原 欣貴

研究内容の概要

ダイバーシティ&インクルージョンに関する企業の取り組みは、人的資源管理論や CSR の文脈において議論をされてきた。本研究では後者の文脈においてステイクホルダー理論に基づき、どのようにダイバーシティとインクルージョンを推進する企業活動が従業員への価値創造に結びついているのかに着目している。とりわけ、インクルージョンの風土を醸成するうえではリーダーの役割が重要であるとされている。それゆえ、本研究ではインクルーシブ・リーダーシップに着目し、インクルーシブ・リーダーシップと従業員価値との関係性がどのようなものなのかを探求している。

一方、ダイバーシティ&インクルージョンという観点から、起業家の行動に着目した研究も行っている。とりわけ、近年は男性女性ともに起業をする人々が増えていることから、起業家活動における男女差に着目し、両者の違いを明らかにしようと試みている。